

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立五福小学校（熊本県）

【取組内容④】 共同作業アプリを生かした新たな校内研修のプロセスデザイン

プロセス1：従来の授業研究会をコンパクトにしたもの

学習支援ソフトの協働編集機能を活用することで、プロセス1をコンパクトにまとめ、プロセス2を充実させた校内研修の取組である。

2023.10.10(Tue.) 2年1組 佃先生 大研 指導案

良い点 と 改善点 で書き込む

主体性を鍛える 学習課題の工夫	子どもの探究活動や表現活動を 深める協働的な学びの工夫	学びを実感する 振り返りの工夫
<p>子どもが主体的に学び、自ら考え、表現する学習活動が実現している。</p> <p>授業内容をアプリで共有し、全員が確認できている。</p> <p>授業内容の共有により、子どもが主体的に学び、自ら考え、表現する学習活動が実現している。</p> <p>授業内容をアプリで共有し、全員が確認できている。</p>	<p>グループ学習活動により、子どもが主体的に学び、自ら考え、表現する学習活動が実現している。</p> <p>グループ学習活動により、子どもが主体的に学び、自ら考え、表現する学習活動が実現している。</p> <p>グループ学習活動により、子どもが主体的に学び、自ら考え、表現する学習活動が実現している。</p>	<p>振り返り活動により、子どもが主体的に学び、自ら考え、表現する学習活動が実現している。</p> <p>振り返り活動により、子どもが主体的に学び、自ら考え、表現する学習活動が実現している。</p> <p>振り返り活動により、子どもが主体的に学び、自ら考え、表現する学習活動が実現している。</p>



授業の気づきを、一斉に書き込むことで、意見の収集・整理をまとめて行う

従来の授業研究会

1. プロセス1
2. プロセス1
3. 意見交換 (挙手指名型) (ワークショップ型)
4. 助言

プロセス2

参加者の授業改善につながらない助言者に依存していないか？

リフレクションを促す授業研究会

7. 授業者の自評 (5分)
8. タブレットで一斉に記入(10分) (奨励点ピンク、改善点水色)
9. 司会による整理：全体に共有 (5分)
10. 対話による改善のアイデア (10分)
11. 改善のアイデアを全体に共有：口頭 (10分)
12. 教科のまとめ (馬原) (10分)
13. 対話によるポイントの概念化(5分)
14. 対話しながら言葉にまとめる(5分)記録係
15. 対話による自分の授業の改善点(10分)
16. ロイロノートに各自記入して提出 (5分)
17. 全体のまとめ (前田) (10分)
18. 全体の振り返り (学んだこと) (時間があれば)

教科研究会のプロセスデザイン



対話を通してアイデアを出し合う



司会が授業の改善点を取り上げ、改善案をみんなで出し合う



講師から、教科のポイントを学びとる

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立五福小学校（熊本県）

【取組内容④】 共同作業アプリを生かした新たな校内研修のプロセスデザイン

プロセス2：学びのリフレクション



授業のポイントを概念化



授業のポイントを概念化して一斉に書き込むことで整理する



概念化した言葉をキーワードに、対話を通して授業の改善点を考える



改善点を踏まえ、自分の授業を振り返る

戻る		9/26 宮嶋先生の実践を受けての振り返り	
<p>いろいろな経験を出し合い、それを共有する中から課題を設定し、それを自分ごととして解決していることを大切だと思ふ。いろいろな教員で生活経験を生かした学習を進めていきたい。</p> <p>9月26日(水) 16:33</p>	<p>自分ごとの学びや、生活を生かすアクテックを学習やめあてに生かすというのをもっと意識的にやっていきたいと思ふ。家庭科は、とても大切な学習だが、なかなか進まない。家庭科の学習を教育活動全体で推進していきたいと思ふ。</p> <p>9月26日(水) 16:34</p>	<p>子供達からの経験をもとに、経験から課題を作る。みんな考えていく。友達の意見から自分の意見を求める。進捗自分に取り入れられることは何かという事で、他の意見を聞くという姿勢を持たせることが大切だと学んだ。</p> <p>9月26日(水) 16:35</p>	<p>子どもたちから経験をもとに考えさせて、家庭科が今年まで子どもたちが課題を気づけて、自分ごととして学習していることで、学年が変わった後に対応することを学んだ。子どもたちの経験や学習内容を聞き合えながら学習を進めていくのは難しいですが、これからの授業では自分ごとを生活していきたいです。</p> <p>9月26日(水) 16:35</p>
<p>「見つめる」の場面より振り返りの場面で考えたことや学んだことを必ずアウトプットするようにし、他者の考えから、自分自身から活用できそうかどうかを考えを述べさせるなどして、「自分だったら」という視点をもった教材でも入れていきたい。</p> <p>9月26日(水) 16:36</p>	<p>家庭科だけでなく、「見つめる」場面をどの教科でも取り入れたいと思ふ。その場面でしっかり自分のことを見つけることができれば、その後の学習も自然と進んでいくことが期待できる。でも、その気持ち的な「見つめる」を設定するだけでは難しい。授業の場面設定にも考慮が必要だ。また、「見つめる」で終わってしまわないように、振り返りや振り返り後の学習も考えていきたい。</p> <p>9月26日(水) 16:40</p>	<p>①どの教科においても、問題解決学習が大切だと改めて実感した。家庭科も問題解決学習ではない。</p> <p>②P7フォーラム課題の捉え方を改めて捉え直すことができた。具体的なP7フォーラムに基づいていく課題というものがなかったことに、作らなという視点も忘れてはいけないと感じた！</p> <p>9月26日(水) 16:41</p>	<p>①どの教科においても、問題解決学習が大切だと改めて実感した。家庭科も問題解決学習ではない。</p> <p>②P7フォーラム課題の捉え方を改めて捉え直すことができた。具体的なP7フォーラムに基づいていく課題というものがなかったことに、作らなという視点も忘れてはいけないと感じた！</p> <p>9月26日(水) 16:41</p>
<p>「見つめる」ことで自分ごととして考えようとするきっかけになっていけるようにしていくことが大切だが、その楽しさを伝えることも重要だ。また、「アウトプット」の時点で、子どもたちの持つ得意な表現をどう活かすか、どう伸ばすか、どうつなげるかを、今後につなげていきたい。</p> <p>9月26日(水) 16:41</p>	<p>9/26 振り返り★これからの自分を取り組むこと・授業の課題を設定するため・児童の発表をペアに考えられるように、児童に促して自分ごとから課題の設定に導く・振り返りの時間を授業時間内にする</p> <p>9月26日(水) 17:36</p>	<p>自分のことを「見つめる」場面をつくることで、自分の経験や意見に繋がり、その他の学習の学習活動として子どもたちに入っていくことに納得しました。またそのときに、子どもたちが経験をもたらしやすくなることで、自分のことを「見つめる」ことが難しい子どもにもつながる。振り返りの時間を授業時間内にする。他の経験ははじめ「見つめる」と思いました。</p> <p>9月26日(水) 17:36</p>	<p>今回の研修の中で、架空の人物にアドバイスする形式と意見が出やすい場面で良かった。宮嶋先生と先生とのやり取りや観察をやらない授業作りは私もついに見習ってみたいと思います。</p> <p>9月26日(水) 14:19</p>

振り返りを残すことで、教師の学びをポートフォリオしていく